

令和6年度

病害虫発生予察情報

第6号

4月月報

北海道病害虫防除所 令和6年(2024年)5月21日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

—暖かい空気に覆われやすく、歴代1位の高温—

4月は、月を通して暖かい空気に覆われやすく、中旬と下旬には上空1500m付近が6月下旬並の暖気に覆われる日もあった。また高気圧に覆われて晴れた日が多く、日本海側を中心に日照時間が多かった。これらの要因により、気温は全道的にかなり高かった。月平均気温の平年差は、日本海側、オホーツク海側、太平洋側及び北海道地方で、1946年の統計開始以降4月として高い方から第1位の記録となった。降水量は、低気圧の影響を受けにくかった日本海側でかなり少なく、オホーツク海側で少なかった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日本海側を中心に日照時間がかなり多かった。日本海側の日照時間の平年比は、1961年の統計開始以降、4月上旬として多い方から第1位の記録となった。降水量は日本海側でかなり少なかったが、9日に北海道の南を北東に進んだ低気圧の影響により、太平洋側では多かった。気温は、暖かい空気に覆われやすく、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだ日もあったため、かなり高かった。

中旬：高気圧の圏内となることが多く、低気圧の影響を受けにくかったため、降水量は少なかった。また、暖かい空気に覆われやすく、北海道の北を通過する低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだ日もあったため、気温はかなり高かった。旬平均気温の平年差は、日本海側、オホーツク海側、太平洋側及び北海道地方で、1946年の統計開始以降4月中旬として高い方から第1位の記録となった。

下旬：天気は数日の周期で変わったが、21日から23日にかけてオホーツク海からの湿った気流の影響を受けたため、オホーツク海側では、曇りの日が多く日照時間はかなり少なかった。24日から25日にかけては低気圧の影響により、太平洋側では局地的に大雨となったため、太平洋側の旬降水量は多かった。気温は、暖かい空気に覆われやすかったため、高かった。特に太平洋側の気温はかなり高く、旬平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降4月下旬として高い方から第1位の記録となった。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+3.0	か高	71	並	108	多
日本海側10 地点平均	+2.9	か高	48	か少	113	多
オホーツク海側4 地点平均	+3.3	か高	68	少	106	並
太平洋側8 地点平均	+3.0	か高	101	並	104	並

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0は調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 秋まき小麦

1. 雪腐病 発生量 少

予察ほにおける根雪始は、長沼町及び訓子府町では平年並、芽室町では平年よりやや遅かった。融雪期は、訓子府町では平年並、長沼町では平年よりやや遅く、芽室町では平年より遅かった。積雪期間は長沼町、芽室町及び訓子府町とも平年並であった。

予察ほにおける「きたほなみ」の雪腐病発病度は、訓子府町では平年より高く、芽室町及び長沼町では平年並であった。病原菌種別で見ると、長沼町では雪腐褐色小粒菌核病及び紅色雪腐病、芽室町では紅色雪腐病、訓子府町では雪腐大粒菌核病が主体であった。

一般ほにおける発生面積率及び被害面積率はともに少なかった。病原菌種別では、紅色雪腐病の割合が高い地域が多かった。

予察ほにおける積雪状況

地点	根雪始		融雪期		積雪期間(日)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	12月13日	12月11日	3月29日	3月25日	108	106
芽室町	12月12日	12月7日	4月7日	4月1日	118	116
訓子府町	12月13日	12月13日	3月29日	3月29日	108	106

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	発病度		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	15.7	11.1	10
芽室町	きたほなみ	16.1	30.7	10
訓子府町	きたほなみ	51.2	29.6	10

予察ほにおける病原菌種別発生割合(%)

地点	長沼町		芽室町		訓子府町	
	きたほなみ		きたほなみ		きたほなみ	
品種名	本年	平年	本年	平年	本年	平年
雪腐大粒菌核病	0	0	0	31	95	50
雪腐黒色小粒菌核病	0	3	0	13	0	30
雪腐褐色小粒菌核病	47	56	0	3	0	2
紅色雪腐病	38	39	100	54	5	19
褐色雪腐病	15	2	0	0	0	0

一般ほにおける発生状況(振興局別調査結果)

振興局	作付面積(ha)	発生面積率(%)		被害面積率(%)		発生ほの病原菌種別発生割合(%)					
		本年	平年	本年	平年	大粒	褐小	黒小	紅色	褐色	その他
空知	11,476	10.5	25.7	1.8	5.3	0	38.0	6.9	31.5	23.6	0
石狩	6,997	41.3	39.7	2.6	8.7	0	21.5	12.4	45.6	20.5	0
後志	1,107	16.7	40.8	0.3	2.5	0	81.7	15.9	2.4	0	0
胆振	1,223	0.7	5.4	0	0.2	0	11.1	2.8	41.7	44.4	0
檜山	795	20.6	16.5	0.9	0.6	0	62.7	30.4	3.9	3.0	0
上川	12,268	42.4	51.4	5.6	10.4	0	17.5	26.1	29.7	26.7	0
留萌	925	55.5	55.9	0.3	12.6	0.2	96.3	2.1	0	1.4	0
オホーツク	23,002	10.4	28.8	1.0	2.6	21.5	3.1	11.1	59.4	4.5	0.4
十勝	42,509	5.2	20.3	0.3	1.3	10.5	0.1	9.9	29.5	49.6	0.5
全道計	100,303	14.7	27.8	1.5	3.2	5.1	19.1	16.1	36.1	23.6	0.1

注) 大粒：雪腐大粒菌核病、黒小：雪腐黒色小粒菌核病、褐小：雪腐褐色小粒菌核病、紅色：紅色雪腐病、褐色：褐色雪腐病、その他：スッポヌケ症等

2. 赤さび病 発生期 早 発生量 並

＜5日17日付け注意報第2号＞

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は長沼町、芽室町及び訓子府町とも平年より早かった。発生量は長沼町では平年よりやや多く、芽室町及び訓子府町では平年並であった。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月11日	4月18日	0.05	0.03	10
芽室町	きたほなみ	4月18日	5月14日	0.00	0.00	10
訓子府町	きたほなみ	4月25日	5月18日	0	0.00	10

注)*:全葉調査の平均値

3. うどんこ病 発生期 ー 発生量 並

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は訓子府町では平年よりやや早かった。長沼町及び芽室町では未発生である。発生量は長沼町、芽室町及び訓子府町とも平年並であった。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	未発生	5月1日	0	0.02	10
芽室町	きたほなみ	未発生	5月18日	0	0.01	10
訓子府町	きたほなみ	5月6日	5月10日	0	0.01	10

注)*:全葉調査の平均値

B. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生期 早 発生量 並

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺日は、いずれの地点においても平年より早かった。誘殺数は、比布町で多く、他の地点では平年並であった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数と初誘殺日

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月1半旬	0	0.6	-	0	0	3.9	0	0	-	-
2半旬	2	0.2	1	1.0	3	4.0	2	0.4	-	0
3半旬	5	1.3	30	3.8	17	7.1	5	1.1	2	0.2
4半旬	1	1.2	17	2.6	7	8.1	0	1.1	1	0.7
5半旬	1	0.8	5	6.1	2	8.6	3	1.7	0	0.1
6半旬	0	2.2	4	18.1	6	13.8	1	1.7	1	0.7
初誘殺日	4月8日	4月17日	4月8日	4月16日	3月30日	4月5日	4月8日	4月20日	4月11日	4月26日

C. りんご

1. ハマキムシ類 (ミダレカクモンハマキ) 発生期 早 越冬卵量 やや少

長沼町の予察園における5年枝3本当たりの越冬卵塊密度は、0.5卵塊(平年:0.8卵塊)と平年よりやや低かった。越冬卵のふ化始は、4月19日(平年:5月1日)と平年より早かった。